

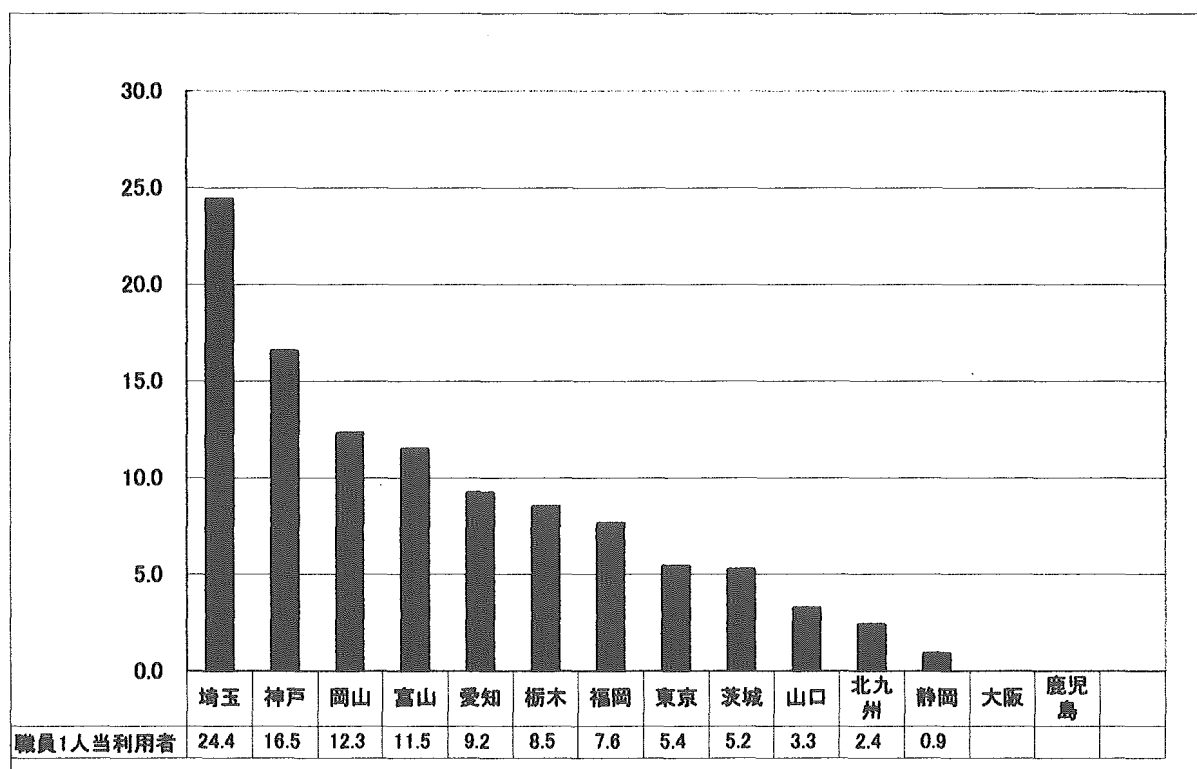
表 52 職員一人当たりの利用者数(平成 12 年度)

	職員 1 人当利用者	総利用者数	営業日数	人員
埼玉	24.4	195,409	308	26
神戸	16.5	111,337	306	22
岡山	12.3	105,087	305	28
富山	11.5	133,380	314	37
愛知	9.2	260,067	310	91
栃木	8.5	128,971	286	53
福岡	7.6	49,565	295	22
東京	5.4	43,352	308	26
茨城	5.2	35,753	341	20
山口	3.3	19,092	345	17
北九州	2.4	6,610	308	9
静岡	0.9	8,306	297	31
大阪				
鹿児島				

平均値	8.9
標準偏差	6.6
最小値	0.9
最大値	24.4

\* 職員には非常勤、兼務、出向等も含む。

図 57 職員一人当たりの利用者数



# 參考資料



**A 貴県の健康づくり施策と健康科学センターの位置づけについて**

**問1 貴県の現在の健康問題は何ですか？ 重要と思われる順に5つの項目の範囲内でご記入ください。**

(課題1) \_\_\_\_\_

(課題2) \_\_\_\_\_

(課題3) \_\_\_\_\_

(課題4) \_\_\_\_\_

(課題5) \_\_\_\_\_

**問2 また、それはどのようにして把握されましたか？ 該当するものに○印をお付けください。  
(複数回答可)**

1 独自調査により(どのような調査ですか、具体的にご記載ください)

- 
- 2 統計資料等で毎年定期的に分析することにより
  - 3 県保健所からの報告や資料により
  - 4 市町村あるいは市町村保健センターからの報告や資料により
  - 5 健康科学センターからの報告や資料により
  - 6 医療機関からの報告や資料により
  - 7 県衛生研究所からの報告や資料により
  - 8 国からの資料あるいは通知により
  - 9 医療計画、老人福祉計画等の行政計画の策定過程において
  - 10 大学等の研究機関による分析や資料により
  - 11 マスコミ等の報道により
  - 12 企業や労働組合等の報告や資料により
  - 13 政府管掌保険、組合保険等の保険者からの報告や資料により
  - 14 (直接的、間接的な) 住民からの声により
  - 15 その他(具体的にご記載ください)
-

問3 上記設問で統計資料と答えた方にお聞きします。健康上の問題点を把握する上で代表的なデータを次の中から5つ選び○印をお付けください。

- |                                 |                |
|---------------------------------|----------------|
| 1 人口動態統計                        | 10 学校保健統計調査報告  |
| 2 国民生活基礎調査                      | 11 衛生行政業務報告    |
| 3 家計調査年報                        | 12 感染症統計       |
| 4 国民栄養の現状                       | 13 結核の統計       |
| 5 日本人の栄養所要量                     | 14 伝染病統計       |
| 6 保健福祉動向調査                      | 15 食中毒統計       |
| 7 地域保健事務報告                      | 16 医療施設調査・病院報告 |
| 8 老人保健事業報告                      | 17 老人保健施設調査    |
| 9 母体保護統計報告                      | 18 患者調査        |
| 19 WISH やインターネット等の情報システムから収集    |                |
| 20 都道府県統計資料(以下に具体的な資料名をご記入ください) |                |

---

21 その他(以下に具体的な資料名をご記入ください)

---

問4 問1に関連して貴県では健康問題の解決に向けて、県独自で何か新たな事業を行っていますか？ 課題ごとにお答えください。

(課題1)

- |                          |        |       |   |
|--------------------------|--------|-------|---|
| 1 既に行っている                | (いつ頃から | どの機関で | ) |
| 2 行う予定である                | (いつ頃から | どの機関で | ) |
| 3 未定である                  |        |       |   |
| 4 予定はない(以下にその理由をご記入ください) |        |       |   |

---

(課題2)

- |                          |        |       |   |
|--------------------------|--------|-------|---|
| 1 既に行っている                | (いつ頃から | どの機関で | ) |
| 2 行う予定である                | (いつ頃から | どの機関で | ) |
| 3 未定である                  |        |       |   |
| 4 予定はない(以下にその理由をご記入ください) |        |       |   |

---

(課題3)

- |                          |        |       |   |
|--------------------------|--------|-------|---|
| 1 既に行っている                | (いつ頃から | どの機関で | ) |
| 2 行う予定である                | (いつ頃から | どの機関で | ) |
| 3 未定である                  |        |       |   |
| 4 予定はない(以下にその理由をご記入ください) |        |       |   |
-

(課題 4)

- 1 既に行っている (いつ頃から どの機関で )
  - 2 行う予定である (いつ頃から どの機関で )
  - 3 未定である
  - 4 予定はない(以下にその理由をご記入ください)
- 

(課題 5)

- 1 既に行っている (いつ頃から どの機関で )
  - 2 行う予定である (いつ頃から どの機関で )
  - 3 未定である
  - 4 予定はない(以下にその理由をご記入ください)
- 

**問5 貴県では毎年の予算編成(健康づくり施策費、健康科学センターの運営費等)の際、前年度の実績をどのように評価しますか？ 該当するものに○印をお付けください。**

- 1 執行評価
  - 2 成果評価
  - 3 両方で評価するが執行評価に比重がある
  - 4 両方で評価するが成果評価に比重がある
  - 5 両方で均等に評価する
  - 6 どちらとも該当しない
  - 7 その他(具体的にご記入ください)
- 

**問6 その際の評価の主体は誰ですか？**

- 1 都道府県本庁
  - 2 都道府県が依頼した外部委員会等の第三者機関
  - 3 市町村の当該部局
  - 4 住民
  - 5 その他(具体的にご記入ください)
-

問7 健康づくり事業の評価に関連した記述の中で、貴県の考えに近いと思われる度合いに応じて、それぞれについて10点満点で採点してください。

健康づくり事業は

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 1 医療費で評価するのが合理的である              | 点 |
| 2 健康寿命の延長で評価できる                 | 点 |
| 3 生活習慣の改善で評価できる                 | 点 |
| 4 生活習慣病の罹患率や死亡率で評価できる           | 点 |
| 5 労働生産性で評価できる                   | 点 |
| 6 成果が出るまでの期間が長すぎる               | 点 |
| 7 事業ではなく教育的な運動に近い               | 点 |
| 8 健康づくりのための住民組織の自主的活動状況により評価できる | 点 |
| * コメントがあればご記入ください               |   |
- 

問8 貴県の健康づくり施策費に占める、健康科学センターの運営費の割合はどの位ですか？  
約（ ）%

問9 住民の健康づくりや健康政策を実施する上で、次の施設が期待通り機能していると思われ  
ますか？

9-1. 健康科学センターについて

- 1 十分に機能している
  - 2 ある程度機能している
  - 3 普通
  - 4 あまり機能していない
  - 5 機能していない
- \* 普通以下とお答えになった方のみ、その理由をご記入ください。
- 

9-2. 保健所について

- 1 十分に機能している
  - 2 ある程度機能している
  - 3 普通
  - 4 あまり機能していない
  - 5 機能していない
- \* 普通以下とお答えになった方のみ、その理由をご記入ください。
-





- 4 健康科学センター データ内容 ① \_\_\_\_\_  
 ② \_\_\_\_\_  
 ③ \_\_\_\_\_
- 5 大学等の研究機関 データ内容 ① \_\_\_\_\_  
 ② \_\_\_\_\_  
 ③ \_\_\_\_\_
- 6 民間委託 データ内容 ① \_\_\_\_\_  
 ② \_\_\_\_\_  
 ③ \_\_\_\_\_
- 7 その他 データ内容 ① \_\_\_\_\_  
 (機関名: ) ② \_\_\_\_\_  
 ③ \_\_\_\_\_

**問 11 県下の市町村保健センターに関連する記述の中で、貴県の考えに近いと思われる度合いに応じて、それぞれについて 10 点満点で採点してください。**

- 1 県下において市町村保健センターが機能しているのはある程度の人口を有する市のみである 点
- 2 人口の比較的少ない市町村は既存の行政区分にとらわれることのない広域連合的なサービスの仕組みが必要である 点
- 3 健康科学センターと市町村保健センターとは十分に連携している 点
- 4 保健所と市町村保健センターとは十分に連携している 点
- 5 県衛生研究所と市町村保健センターとは十分に連携している 点
- \* その他(コメントがあればご記入ください)
- 

**問 12 上記に関連する設問ですが、県下の健康問題の同定や市町村保健センターを支援するため、健康科学センター、保健所、衛生研究所の三機関の機能的連携は充分に行われていますか？(特に情報の流通等)**

- 1 十分に連携できている
- 2 ある程度連携できている
- 3 普通
- 4 あまり連携できていない
- 5 殆んど連携できていない
- \* 普通以下とお答えになった方のみ、その理由をご記入ください。
-



**問 17 貴県の健康科学センターの事業・サービスで現在行われているものに○印をお付けください。また、実施の事業・サービスの中で、現時点における貴県にとっての重要度が比較できるように 10 点満点で採点してください。**

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 1 (政策策定のための)健康関連データの収集、解析、還元サービス | 点 |
| 2 実践指導事業(住民、会社員等に対する)            | 点 |
| 3 指導者養成事業(保健婦、健康づくり指導員等に対して)     | 点 |
| 4 コンサルティング・相談事業(地域、職域等に対して)      | 点 |
| 5 健康指導員派遣事業(地域、職域等に対して)          | 点 |
| 6 健康教育普及事業(セミナー、講演会等の開催)         | 点 |
| 7 健康に関する啓蒙普及事業(健康科学に関する展示、図書館等)  | 点 |
| 8 先進的、独創的な健康指導プログラムの開発           | 点 |
| 9 各種の調査研究                        | 点 |
| 10 その他(具体的にご記入ください)              |   |
- 

**問 18 上記設問に関連して、今後貴県として優先的に実施すべき事業・サービスに重み付けしてください。重要度が比較できるように 10 点満点で採点してください。**

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 1 (政策策定のための)健康関連データの収集、解析、還元サービス | 点 |
| 2 実践指導事業(住民、会社員等に対する)            | 点 |
| 3 指導者養成事業(保健婦、健康づくり指導員等に対して)     | 点 |
| 4 コンサルティング・相談事業(地域、職域等に対して)      | 点 |
| 5 健康指導員派遣事業(地域、職域等に対して)          | 点 |
| 6 健康教育普及事業(セミナー、講演会等の開催)         | 点 |
| 7 健康に関する啓蒙普及事業(健康科学に関する展示、図書館等)  | 点 |
| 8 先進的、独創的な健康指導プログラムの開発           | 点 |
| 9 各種の調査研究                        | 点 |
| 10 その他(具体的にご記入ください)              |   |
- 

**問 19 健康科学センターは誰を意識し、或いは誰の意向を尊重し、サービス・事業を展開しているか、重み付けしてください。重要度が比較できるように 10 点満点で採点してください。**

- |                    |   |
|--------------------|---|
| 1 国(健康づくり等の所管課)    | 点 |
| 2 県(センターの当該所管課)    | 点 |
| 3 県保健所             | 点 |
| 4 市町村(地域)          | 点 |
| 5 企業(職域)           | 点 |
| 6 学校               | 点 |
| 7 医療機関             | 点 |
| 8 住民               | 点 |
| * コメントがあればご記入ください。 |   |
-

**問 20 健康科学センターの運営に関する問題で、貴県の考えに近いと思われる度合いに応じて 10 点満点で採点してください。**

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 1 周辺市町村に比較して、遠方は殆んどサービスが行き届いていない    | 点 |
| 2 行政サービス(無料)なのか、事業(有料)なのか、曖昧である     | 点 |
| 3 経費をかける割には各事業が効果的でないように思う          | 点 |
| 4 教室の開催等の健康指導事業(直接事業)に偏りがあるように思う    | 点 |
| 5 研究開発機能が必ずしも充分とはいえない               | 点 |
| 6 地域毎の健康問題の同定のための本来あるべき情報収集・分析機能がない | 点 |
| 7 運営については民間に委託した方が効率的である            | 点 |
| 8 業務運営において非効率な面がかなりある               | 点 |
| 9 運営委託しているが、県と一体化しているので事業、組織に柔軟性がない | 点 |
| * コメントがあればご記入ください。                  |   |
- 

**問 21 健康日本 21 の地方計画を策定する上で、健康問題をどのように把握されましたか？ 該当するものに○印をお付けください。(複数回答可)**

**この問 21、問 22 は問 2、問 3 と重複します。回答が全く同じであれば、未記入で構いません。**

1 独自調査により(どのような調査ですか、具体的にご記載ください)

---

- 2 統計資料等で毎年定期的に分析することにより
  - 3 県保健所からの報告や資料により
  - 4 市町村あるいは市町村保健センターからの報告や資料により
  - 5 健康科学センターからの報告や資料により
  - 6 医療機関からの報告や資料により
  - 7 県衛生研究所からの報告や資料により
  - 8 国からの資料あるいは通知により
  - 9 医療計画、老人福祉計画等の行政計画の策定過程において
  - 10 大学等の研究機関による分析や資料により
  - 11 マスコミ等の報道により
  - 12 企業や労働組合等の報告や資料により
  - 13 政府管掌保険、組合保険等の保険者からの報告や資料により
  - 14 (直接的、間接的な) 住民からの声により
  - 15 その他(具体的にご記載ください)
-

問 22 上記設問で統計資料と答えた方にお聞きします。健康上の問題点を把握する上で代表的なデータを次の中から5つ選び○印をお付けください。

- |                                 |                |
|---------------------------------|----------------|
| 1 人口動態統計                        | 10 学校保健統計調査報告  |
| 2 国民生活基礎調査                      | 11 衛生行政業務報告    |
| 3 家計調査年報                        | 12 感染症統計       |
| 4 国民栄養の現状                       | 13 結核の統計       |
| 5 日本人の栄養所要量                     | 14 伝染病統計       |
| 6 保健福祉動向調査                      | 15 食中毒統計       |
| 7 地域保健事務報告                      | 16 医療施設調査・病院報告 |
| 8 老人保健事業報告                      | 17 老人保健施設調査    |
| 9 母体保護統計報告                      | 18 患者調査        |
| 19 WISH やインターネット等の情報システムから収集    |                |
| 20 都道府県統計資料(以下に具体的な資料名をご記入ください) |                |

---

21 その他(以下に具体的な資料名をご記入ください)

---

問 23 これから健康日本 21 の市町村計画が策定される予定ですが、これらに関連した記述で、貴県の考えに近いと思われる度合いに応じて 10 点満点で採点してください。

- |   |   |
|---|---|
| 1 健康日本 21 の計画を策定できる市町村は体制的に限られている           | 点 |
| 2 政令指定都市以外は広域で策定した方が効率的と云える                 | 点 |
| 3 市町村の健康に関連するデータの分析は健康科学センターで実施している         | 点 |
| 4 市町村の健康に関連するデータの分析は県保健所で実施している             | 点 |
| 5 市町村の健康に関連するデータの分析は衛生研究所で実施している            | 点 |
| 6 市町村計画の策定にあつたては県がある程度リードする必要がある            | 点 |
| 7 ベースライン値及び目標値等の作成に必要な調査を予算的に支援する予定         | 点 |
| 8 ベースライン値及び目標値等の作成に必要な調査を技術的に支援する予定         | 点 |
| 9 計画策定検討会に向けて財政的な支援を行う予定である                 | 点 |
| 10 計画は策定できると思うが、目標達成に不安がある                  | 点 |
| 11 目標達成には施策体系が必要である                         | 点 |
| 12 健康日本 21 の計画策定及び実施については国が充分に責任を持ち支援すべきである | 点 |
- \* コメントがあればご記入ください。
-

**問24 健康日本21の地方計画の遂行にあたり、地域、学校、職域等との連携について、貴県の考えに近いと思われる度合いに応じて10点満点で採点してください。**

- |   |   |
|---|---|
| 1 従来の連絡会議などを利用して連携を進める                      | 点 |
| 2 新たに地域、学校、職域等の関係者を加えた推進会議等をつくり連携を進める       | 点 |
| 3 市町村単位で連携を進めるべきもので、特に県としての支援は考えていない        | 点 |
| 4 保健所の運営協議会等の既存の委員会を活用し連携を進めるよう指導する予定       | 点 |
| 5 保健所単位で新たな健康日本21に関する委員会を設置して連携を進めるよう指導する予定 | 点 |
| 6 健康科学センターで既存の委員会等を活用して連携を進めるよう指導する予定       | 点 |
| 7 地方計画の遂行に関する連携については国が十分に責任を持つべきである         | 点 |
| 8 特に考えていない                                  |   |
| * その他ご意見を記入ください                             |   |
- 

**問25 健康日本21の地方計画の策定目標を達成するため、誰が推進リーダーになるとよいと思われますか？ 貴県の考えに近いと思われる度合いに応じて10点満点で採点してください。**

- |                   |   |
|-------------------|---|
| 1 住民(あるいはその代表)    | 点 |
| 2 市町村             | 点 |
| 3 都道府県            | 点 |
| 4 健康科学センター        | 点 |
| 5 保健所             | 点 |
| 6 衛生研究所           | 点 |
| 7 関係者で構成される推進協議会等 | 点 |
| 8 大学等の研究機関        | 点 |
| 9 特に考えていない        |   |
| * その他ご意見を記入ください   |   |
- 

**問26 健康日本21の計画策定及び遂行に当たって県として国に何を期待されますか？ 該当するものに○印をお付けください。**

- |                  |  |
|------------------|--|
| 1 財政的支援          |  |
| 2 技術的支援          |  |
| 3 人的支援           |  |
| * その他具体的にご記入ください |  |
- 

その他、ご意見をお聞かせ頂ければ幸いです。

以上



## B 健康科学センターの運営状況について

### 1. 名 称

\_\_\_\_\_

### 2. 設置主体

\_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

### 3. 所 管 課

\_\_\_\_\_ 課 課長名 \_\_\_\_\_

### 4. 運 営 費

平成 11 年度 約 \_\_\_\_\_ 億円

平成 12 年度 約 \_\_\_\_\_ 億円

平成 13 年度 約 \_\_\_\_\_ 億円(見込み)

### 5. 所 在 地

〒 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

### 6. 施 設 長

\_\_\_\_\_

### 7. 建設着工

平成\_\_年\_\_月 ~ 平成\_\_年\_\_月( \_\_年\_\_ヶ月)

### 8. 運営開始

平成\_\_年\_\_月

### 9. 建設規模

\_\_\_\_\_造り 地下\_\_階 地上\_\_階

敷地面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

建築面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

延床面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>



主要な事業区分(業務単位)別の占有面積

\_\_\_\_\_ 関連 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>      \_\_\_\_\_ 関連 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

\_\_\_\_\_ 関連 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>      \_\_\_\_\_ 関連 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

\_\_\_\_\_ 関連 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>      \_\_\_\_\_ 関連 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

共有スペース \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

駐車場

乗用車 屋内 \_\_\_\_\_ 台

乗用車 屋外 \_\_\_\_\_ 台      バス 屋外 \_\_\_\_\_ 台

### 10. 認定指定

該当するものにチェックをお願いします。

労働者健康保持増進サービス機関認定(中央労働災害防止協会)

健康増進施設認定(厚生労働省)

指定運動療法施設指定(厚生労働省)

その他( \_\_\_\_\_ )

### 11. 総建設費

約 \_\_\_\_\_ 億円

調達方法: \_\_\_\_\_

返済方法: \_\_\_\_\_

### 12. 用地費

該当するものにチェックをお願いします。

所有土地の有効活用

新たに取得

その他( \_\_\_\_\_ )

### 13. 設備機器

主要な事業区分(業務単位)別に設備・機器名と数量及び価格等に関する情報をお纏め下さい。

(例)○○○○事業関連

設備・機器名	価 格	数 量
○○診断機器	○○○円	8 台
○○測定装置	○○○円	3 台

14. 運営組織 職種別構成(常勤、非常勤、出向等含む)等が分かるようにお願いします。

	役員	部長	課長	課長補佐	主査	担当	計
経営層							
事務管理							
医師							
歯科医師							
運動指導							
薬剤師							
保健婦							
栄養士							
放射線技師							
歯科衛生士							
臨床検査技師							
養護教諭							
運転手							
その他							
計							

\* 組織図も併せお示くださいますようお願いいたします。

15. 運営収支 主要事業区分(業務単位)別の収支の詳細をお願いします。

以上

平成 13 年度厚生科学研究費補助金  
健康科学総合研究事業

# 分担研究報告

## 政策拠点としてのあいち健康の森・健康科学総合センターの点検

### —活性化に向けての提案—

分担研究者 井形昭弘（あいち健康の森・健康科学総合センター）

#### 研究要旨

あいち健康プラザの利用者に対する施設運営及び日常業務に関する職員の意識を調査・分析することにより、健康プラザの業務改善を目指した。

設立以来、来館者の健康増進を総合的に推進してきたが、350万人を越す一般来館者の意識はそれ程高くなく、投書も健康づくりへの提言は少なく施設ないしサービスへのクレームが大部分を占めており、健康づくりを根付かせるためには先ずサービスの充実を図り、楽しく来館できる環境を準備することが、当面の課題であることが明確となった。

一方、職員の志気も重要な因子である。同一職場で永年勤務することは志気の低下にもなりかねない。業務の活性化のためには全国の健康科学センター間での人事交流も考えていかねばならない。

#### A. 研究目的

当センターは平成9年11月にオープンし平成13年末には来館者350万名を越え、健康度評価、健康づくりの実践、指導者の育成、他の健康づくり関連諸機関とのネットワークの構築など健康づくりの拠点として目標に近い成果を収めてきた。ただ、それが果たして予算として投資された経費に比しどれだけ成果を挙げたかの客観的な評価が可能かについてはなお残された問題があり、今後客観的な究明を行うことが求められている。本研究は全国の健康科学研究センターの相互連絡をとり、政策拠点としてのセンターの機能を相互に比較検討することを目的としており、その成果は別に報告されているが、ここでは当センターの職員や来館者を対象に若干の検討を行い今後健康づくりに向けて一段と活性化するための方策を模索し、若干の提案を行った。

#### B. 研究方法

当センターの活動状況を各種実績データから分析し、評価の観点から再検討を行った。また健康

づくりや健康度評価に直接関与する職員に直接設問して今後の活性化について積極的に活性化の方法、提案などについて意見を徴し、その上に今後の活性化に向けて当センターとしての具体的対策を模索した。

#### C. 研究結果

(1) 平成13年度に来館者が自由に意見開陳が出来る投書箱から寄せられた意見を集約すると129件の殆どがサービスや施設に対する不満であり、それらはそれなりに改善されて来た。その中で健康づくりの推進そのものに向けられた意見ないし提言は約20件で極めて少なかった。(表1)つまり未だ健康づくりそのものに向けられる提案の段階になく、先ずは具体的なサービスの向上が当センターの利用促進や県民運動としての健康づくりの推進に最も大きな因子である現状が明らかになった。

(2) 当センターの職員との会話を通じて討議する機会を持ったが、県の外郭団体であるために約40%近くを占める県からの出向者の多くは、2ないし3年の期限を意識しており、仕事は完璧に遂行す